

**(1) 2020年度 アナウンサーによる面接講習、個人面接練習・集団討論練習(第1期)**

参加者は18名で、内訳は3年生が17名、卒業生が1名です。日程表を公表した後、追加・修正解禁日の1/8(金)9:30すぐに追加申込のメールが来ました。皆さんの教採合格への意欲の高さに感動しました。コロナのためにzoomによる実施となりますが、最大限の効果を高めていきますので、一緒に頑張りましょう!参加する人は、2/17(水)のアナウンサーによる面接講習までに事前資料を読んでおいてください。併せて、志望理由などの「予習カード」を2/18までに提出してください。添削して返却します。

(2) 2020年度 合格体験記

3月に発行される「教職課程年報」に3キャンパス分まとめて掲載されます。小金井キャンパスでは、8名の合格者が体験記を書いてくれました。どの原稿も後輩の役に立つ苦労話や勉強の極意などであふれています。毎年原稿をデータで送ってほしいとの要望があるので、後日教員志望の2・3年生に送ります。先輩に学んで合格を勝ち取ってください。

(3) 2021年度 個人面接練習・集団討論練習(第2期) [直前練習]

8月の2次試験に向けて、第2期[直前練習]を行います。コロナの関係で恐らくzoomによる実施となるでしょう。7月上旬から個人面接練習、集団討論練習を行い、7月28日(水)と30日(金)には外部講師が面接官になる「模擬面接」を予定しています。5月頃に改めて参加者を募集します。希望が殺到した場合は第1期面接練習を体験した新4年生と卒業生を優先しますが、意欲のある3年生・2年生も参加可能です。去年は、試験直前の4年生の姿から刺激を受けて教採準備を始めた3年生が10名もいました。

(4) 2021年度 合格体験談報告会

例年通り、土曜3限「教育実習事前指導」の授業中に理科数学合同で実施します。

- 実施日時：2021年11月27日(土)13:20~17:00
- 実施方法：zoomによる
- その他：1・2年生も参加可能です。

(5) 2021年度「教育委員会による教採説明会」&「卒業生教員3名を囲む教育懇談会」

例年通り、土曜3限「教育実習事前指導」の授業中に理科数学合同で実施します。

- 実施日：2021年12月4日(土)13:20~17:00
- 実施方法：zoomによる
- その他：1・2年生も参加可能です。

★自治体を1つに絞り、「卒業生現職教員3名を囲む教育懇談会」も実施する方向で検討中です。

数学コーナー

今回は、「数学教師あるある」です。



- Q1:** 中学生が「先生、なんで確率なんか勉強するの? コインが表か裏か、さいころで1の目が出るかでないか、雨が降るか降らないか、入試で合格か不合格か etc. 全部どっちかしかないんだから、確率は全て1/2に決まってるじゃん」と質問してきました。数学教師のあなたは、どのように答えますか?
- Q2:** 数学教師のあなたが、授業で生徒に「明日は、小テスト または ノート検査をします。準備しておくように」と伝えました。翌日、あなたが小テストとノート検査の両方を行ったところ、生徒からは「両方なんてひどい。嘘つき!」と大ブーイングが起きました。あなたは、生徒たちにどのように話しますか。

教探の隠れた必修科目に注意！



(1) 教員系人事選考(教員採用試験、昇任試験等)の難しさ

論文でも面接でも教員系人事選考では、学生なのに教員として、教員なのに副校長として、副校長なのに校長としてどのような取組をするか述べよと問われます。未来のこと、つまり、未体験の立場に立たなければならないのです。体験したことがないだけに、ともすれば抽象的な綺麗事になりやすいです。しかし、抽象的な方策(手だて)を答えたら即アウト！面接官にとって極めて印象が悪い答えになります。方策は、具体的に答えることが極めて重要です！

(2) 方策(論文の「策」、面接の「手だて・対応」)の絶対条件

方策の絶対条件は、2つあります。一つ目は、上記の通り「**具体的であること**」です。よく国や都のエライ人が「総合的に判断する」とか「状況を見て個別に支援する」という言葉をよく使いますが、聞いている方は、どう判断するのか、どのように支援するのか全く分かりません。何故なら具体的でないからです。抽象的な方策は、何も言っていないに等しい！教探も同様です。策や手だてを問われたら、とにかく**具体的に答えることが合格の絶対条件**です！例えば、「グループ学習・ペア学習を毎時間行い、学び合いの場を増やす」「ICT 機器を活用し、生徒が試行錯誤を通して自ら考える授業を実現する」などです。さらに、合格するためにはもう一つ絶対条件があります。それは、「**自分らしさが伝わること**」です。いくら具体的であっても、「発問をする」「机間指導をする」「ノート検査をする」という方策では合格しません。何故なら、これらは既にどの教員も行っていることだからです。全く自分らしさが感じられません。面接官は受験者に対して、「**この人を採用したら、どんな工夫をしてくれるだろう**」「**担任として生徒とどんな関わりをしてくれるだろう**」と期待感をもって面接を行っています。そんな場面で「板書しながら分かりやすい授業をします」「授業中にノート検査をします」などと答えたら、面接官は「**がっかりだよ！**」と言いたくなります。上記の通り、皆さんはまだ教員になっていません。はっきり言って未熟です。でも、未熟なりに**自分で考えたアイデアや工夫を語ってください**。そして、それらが他の受験生よりも素晴らしい手だてであることを根拠に基づいてPRしてください。そうすればきっと合格します。

(3) 教探の隠れた必修科目に注意！

でも、そんないいアイデアは、そう簡単には思い付きません。皆さんには教員経験がないのだから当然です。だったら、経験のある人から学びましょう。一番効果があるのは、都教研などの**教員向け教科研究会に参加すること**です。各教科の研究会には、いろいろな学校から意欲的な先生が集まってきます。その一人一人が素晴らしい実践を行っているのだから、それらを学べばいいのです。皆さんの先輩で、学生時代から熱心に都教研へ参加し、教探の面接で授業の工夫について質問されたときに研究会で学んだ指導法を答え、見事に合格した人がいます。授業経験は教育実習しなくても、実践事例を豊富にもっていればどんな質問にも答えられます。

また、体験を通してたくさん学べるので、**中学校や高校の学習ボランティアに参加すること**も強くお勧めします。公立学校教員を目指す人は、公立学校の学習ボランティアの方がいいです。何故なら、公立学校の様子がよく分かるからです。お願いすれば、校長から教探の面接指導等を受けることもできます。何よりも実際に公立学校の生徒を指導できることが大きいのです。その体験が、論文の「しかし、残念ながら…」の部分や「例」、面接での場面指導などに生かれます。なお、**特別支援学校教員志望の人は、特別支援学級や特別支援学校の支援員のボランティアに行ってください**。特別支援教育の体験が全くない人は、まず合格しません。

以上の2つのお勧めは、実は**教探の隠れた必修科目**なのです。義務ではないですが、それらの経験がない人の合格率は著しく低いです。逆に、産休育休代替などの臨時的任用教員経験のある卒業生の合格率が極めて高いのは、そのためです。ここに、大学4年生がなかなか教探に合格しない原因があります。臨任や講師経験者が有利なのは、公立学校で生徒を指導した経験があるからです。また、1次合格者が書く2次試験向けの面接票の中にもボランティア体験を書く欄があります。上記の体験のない人は、介護等体験について書くしかありません。でも、教員免許状を取得するために誰でもが体験する介護等体験を武器に闘うのではあまりに弱過ぎます。上記の「体験から学んだことを教員になってこのように生かします！」と答える受験生の相手ではありません。

そして、教員免許状をもっている卒業生の人は、是非臨時的任用教員(臨任)になってください。1年間という期限があるだけで、臨任の仕事は正規教員と全く同じです。フルタイム勤務で校務分掌もあります。面接で聞かれる場面指導など、毎日の出来事だから答えを考えるまでもありません。日々行っていることを答えるだけです。

というわけで、皆さんには是非とも教員向け教科研究会や学習ボランティアに参加してほしいです。教探に落ちてから「研究会や学習ボランティアに参加していればよかった」と嘆いても遅いのです。学習ボランティアの受け入れ先は、学校のWebページから探してもいいし、法政大学の教職課程センターにも依頼が来ています。特に、先輩が行った学校は法政大学生を温かく受け入れてくれるし、教探の指導もしてくれます。さあ、今すぐ「**教探の隠れた必修科目**」にチャレンジしましょう！

★教職課程センター小金井相談室は、全力で皆さんの合格を応援します。頑張ってください！ 祈 合格!!!